



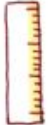



お花の栽培シリーズ「ヘメロカリス」

2010年11月	霜月(しもつき)・雪待月(ゆきまちづき)・霜降月(しもふりづき)・冬半(とうはん)・仲冬(ちゅうとう)・神楽つき(かぐらづき)	●霜対策と越冬対策を行う時期
<p>●朝夕は肌寒いけれど、日中はおだやかな晴天が続きます。さまざまな木々の効用が目をたのませてくれます。</p> <p>●冬に向けて防寒対策をしっかりと行い、植物の保護を忘れずに!</p>		
庭木の作業	<p>・落葉樹の植えかえが下旬から可能になります。葉がすっかり落ちて、休眠にはいったらはじめましょう。</p> <p>・落葉樹の手入れは、落葉後にとりかかります。常緑樹には手をつけてはいけません。</p>	
草花の作業	<p>・10月下旬から、ユリの球根の植え付けが適期となります。</p> <p>・秋まきした苗や、植えかえしたばかりのものはビニールなどで覆い、風や霜を防ぐ。</p>	

今月の誕生花	サフラン・シクラメン・シンビジウム	
	<p>マンジュシャゲ(ヒガンバナ) 花言葉/悲しい思い出</p> <div data-bbox="327 1025 853 1422"> <p>マンジュシャゲとは、梵語で「赤い花」という意味です。 また、秋の彼岸の頃に咲くのでヒガンバナとも呼ばれるようになりました。 「マンジュシャゲ赤々と咲けば昔よりこの道のなぜか墓につづくも」と、前川佐美雄の歌にあるように、昔から死者とは縁の深い花、とされてきました。 墓場などに、よく咲いているせいもあるのかもしれませんが、花言葉も『悲しい思い出』です。</p> </div> <div data-bbox="869 1025 1248 1400">  </div> <div data-bbox="327 1444 1248 1702"> <p>この花は、気温が18℃から20℃になるといっせいに咲き始めます。そのため、昔から秋の種まき時の目安などにもされてきました。 生活力旺盛な花で、道端や川の土手、墓地など、人間の生活の匂いのする場所を好んで群生しています。昨日までは葉1枚なかったような場所に、一夜にして花茎が伸び、真っ赤な花が咲き、そして冬には見慣れない葉だけがうっそうとおい茂るようになるので、「葉見ず花見ず」という異名までもっています。</p> </div> <div data-bbox="327 1713 1248 1915"> <p>原産地は日本～中国。ヒガンバナ科ヒガンバナ属の多年草。草丈は30cm。開花時期は9～11月。最盛期は9月。葉の形状は、広針状または狭剣状。花色は赤、黄、白。英名レッドスパイダーリリー(Red spider Lily)、スパイダーリリー(spider Lily)。別名 キツネノカミソリ、彼岸花(ひがんばな)、曼珠沙華(漢字表記)花持ちは3～4日程度。</p> </div> <div data-bbox="327 1926 1248 2002"> <p>リコリンなどのアルカロイドが含まれ、有毒植物ですが、十分に水にさらせば無毒になります。あまり神経質になることはないでしょう。</p> </div>	

<p>日当たり</p>  <p>半日陰</p>	<p>水やり</p>  <p>ふつう</p>	<p>気温</p>  <p>15~25℃</p>	<p>草丈</p>  <p>30~120 cm</p>	<p>花色</p> 
--	---	---	--	--



ニッコウキスゲなどが仲間ですから、もともとは、山野草として利用されたものです。しかし、アメリカに渡って品種改良がさかんにおこなわれ、逆輸入された形となった植物です。一日しか咲かない「一日花」だったのですが、改良品種になって開花期間も長くなり花色もいろいろ揃います。簡単に株分けで育てられます。開花株を購入して楽しみ、花後に花壇に下ろしてもよく大きい株はこの時期に株分けをおこないます。植えた年の冬は、霜で株が浮くことがあります。植えつけ後に敷きワラなどで防寒することがポイントとなります。そのほかは、特にこれといった難しい管理はありません。暑さ寒さにも強いので、基本的には育てやすい植物だといえます。

●株分けのやり方

株が大きくなりすぎると花つきが悪くなる!!

2~3年ごとに株分けする!! 開花直後~中秋が最適

古い土を落とす!!

2~3茎に裂き分ける!!

古い根や腐った根を切る!!


葉は半分くらいに切りつめる

敷きワラもする!!







日当たり、水はけの良い場所に、植える!!

夜に咲くヘメロカリス

この花の開花時間は、通常昼間。ですが、夜にしか咲かない種類もあります。夕方に花が咲き、夜中開花して、朝にしぼんでしまうというもの。飾る場所によっては、育てるのもおもしろいかも。



●年間スケジュール

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生育 状況	花期 											
植え 場所	屋外の日当たりがよい場所				屋外の半日蔭				屋外の日当たりがよい場所			
水 やり	鉢土の表面が乾いたらたっぷり与える											
肥 料	追肥(花後に化成肥料)   元肥(植えつけ時)											
病 害・ 害虫	 アブラムシに注意											
作 業	植えつけ  植えつけ後に敷きワラなどのマルチをする 株分け  2〜3芽ずつつけて分ける											